

可 決 事 項

【議案第37号】

平成14年度金木町一般会計補正予算(第3号)案

【議案第38号】

平成14年度金木町介護保険特別会計補正予算(第2号)案

【議案第39号】

平成14年度金木町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)案

【議案第40号】

平成14年度金木町水道事業会計補正予算(第2号)案

【議案第41号】

平成14年度金木町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)案

【議案第42号】

金木町税条例の一部を改正する条例案

【議案第43号】

金木町敬老年金条例の一部を改正する条例案

【議案第44号】

金木町消防団条例の一部を改正する条例案

【議案第45号】

青森県市町村職員退職手当等組合規約の一部を変更する規約案

【議案第46号】

金木町助役の選任の件

【議案第47号】

平成13年度金木町一般会計歳入歳出決算の認定を求めるの件

【議案第48号】

平成13年度金木町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件

【議案第49号】

平成13年度金木町国民健康保険特別会計(事業換算)歳入歳出決算の認定を求めるの件

【議案第50号】

平成13年度金木町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件

【議案第51号】

平成13年度金木町水道事業会計収入支出決算の認定を求めるの件

【議案第52号】

平成13年度金木町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件

【報告第11号】

専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件(平成14年度金木町一般会計補正予算(第2号))

【報告第12号】

平成13年度金木町土地開発公社決算の提出の件

【議員発議7号】

食品の安全に係る包括的法律(食品安全新法)の制定と新行政組織の設置に関する意見書(案)

【議員発議8号】

地方税源の充実確保に関する意見書(案)

で、いろいろな問題等が聞こえてくるが社協には特段の信頼を寄せておりこれからも町で対応できないものはあまり重荷にならないようであつたら社協とは連絡を密にしていく。一階ロビーでの喫煙場所を検討しながら時間的に吸わないようにやっていく。タバコ税増収にタバコ販売促進協議会の力が大分寄与していることから財源を見ながらできるだけ補助金のアップを考えていきたい。」

木下教育長

「斜陽館の制服は十・十一・十二年度に配布したが十三年度からは財政上厳しいため予算要求をしておらず、配布された制服は館内掃除や雪かきなどで一年で消耗する状況であることから、今後は三味線会館及び一般職員との関係もありますので町

長、財政と検討していく。」

教育次長

「民俗資料館の桜の枝は企画観光課と協議して早急に切り払いをする方向で考えている。」

企画観光課長

「火祭りの実質的実行者である角田周さんにこれにかわる種々のイベントを相談したところ、産業文化祭りだけではなくそれ以外の何かできないかという気持ちではいるということから、この企画等が立案された段階で町としても財政と検討しながらバックアップ、協力していく考えである。」

総務課長

「有事に際して町の組織体系は町長を本部長とし、三役と各課長が副本部長並びに本部長という位置づけでその各課員がそれぞれの分担事務に対応するよ

うに定められている。」

桑田茂議員

「合併について二町二村に加えて青森、車力、稲垣も含めた議論もあつていいのではないのか。また町内5地区説明会の参加者数とその中でどういう意見がでたのか。」「八月十一日の水害の被害状況と今後の復旧にかかる時間と経費はどのくらいか。」「吉幾三の後援会の会長と会員及び活動はどうなっているのか。」

鳴海町長

「合併の実現性から金木以北二町二村か五所川原を含めた二つの選択しかないのではないかと発言してきたが、二町二村に稲垣、車力が加われば人口四万人くらいになるので稲垣・車力の村長と会うよう努力する。青森については協議会のときに議

会が出ましたということ話を話してみたい。また懇談会には約百五十人が参加し、意見として一番多いのはなぜ合併するのか、合併のメリット・デメリット、合併しないとどうなるのかわからないので情報を提供してくださいとのことでした。」「今まで吉幾三のふるさと会は町長が会長になる慣例で平成三年九月に設立、それからいろいろな形で総会が開かれたが平成九年八月吉幾三の一人人コンサート以来現在は休止状態になっているが、これを契機に何とか吉幾三を激励するような活動を改めて考えていかなければいけないと思っている。」

総務課長

「水害の被害状況は、建物で床上浸水二十二件、床下浸水三十三件、このうち居宅床上が十

六件ということで被災世帯に二万円の見舞金を支給した。農作物の被害は水稲が二百二十八畝で約四百四十万円、野菜が百九十八畝で一千四十万円。道路等の被害は道路橋りょう等が十五カ所で二千七百万円。農林水産施設が二十七カ所で七千六百万円。防災対策費と補助対象外工事修繕で一千五百万円。合計で一億一千八百七十万円、これに農作物等の被害を加えると一億二千三百万円を越える被害になる。」

企画観光課長

「吉幾三ふるさと会の会長は充て職で町長、副会長についても充て職で議長という形になっている。幹事は商工会事務局長、青銀支店長、町の関係者と総務課長で事務局が企画観光課となっている。」

三鷹市長表敬訪問

当町と姉妹・友好関係にある三鷹市の安田養次郎市長と市長公室長が10月17日、鳴海町長を表敬訪問しました。

今回の訪問は、青森市での競輪関係会議出席のため来県し行われたものです。

安田市長を出迎えた鳴海町長や三湯議長らは町長室で、太宰治や合併について話がはずんでいました。

この後、安田市長らは、斜陽館や芦野公園、原田りんご園など当町の観光と産業を視察しました。

津軽三味線会館では津軽三味線の生演奏を聴いて「本当によかった。生の演奏は違いますね」と感激していました。



太宰会が社会参加活動で表彰



金木町太宰会（会長＝山中治）が、これまでの活動事例が積極的な社会参加活動の模範であると評価され、内閣官房長官から社会参加活動顕彰状と社会参加章楯を県と町を通して表彰伝達されました。

この顕彰には、全国で実践者40人、社会参加グループ26団体が選ばれ、県内からは1団体のみでした。

太宰会では、この顕彰が大きな節目となり会の目的と活動を再確認し、今後も会長・執行部を中心に目的達成のための活動を推進するとのことでした。

津軽弁を満喫

10月19日、岐阜県からのツアー客24名が津軽三味線会館で津軽弁講座を受講しました。

講座は津軽地吹雪会が県外からのツアー客を対象に行っているもので、今回受講したJ Aみのかも女性部の皆さんにはテキストが配られ、講師の角田周さんは単語編や会話編に分けた津軽弁のジェスチャーをつけた早口のしゃべり方で説明。おもわず笑い声を上げながら、自分たちも発音して津軽弁を楽しんでいました。

最後に、一人ひとりに角田さんが卒業証書を手渡しながら「帰りの飛行機から降りるときはスチュワーデスに『へば!』とあいさつしてください」と言っていました。



嘉瀬小PTA廃品回収



10月20日の早朝、嘉瀬小学校PTA（会長＝斉藤司）が学区内での第2回廃品回収を行いました。

この日は天候に恵まれ、地域住民や保護者と子どもたちが古新聞、アルミ缶、空きビンなど家にためておいた廃品を分別して次々に持ち寄ったり、PTA役員や生活指導委員がトラックで各家庭を回り、町内の回収に精を出しがばっていました。

小学校前に集められた廃品は種類ごとに整理され、業者に引き渡されました。これで得た収益はもちつき大会で役立てられます。

チャリティー民謡ショー・ふれあい昼食会開催

今年で20回目を迎える金木町扇謡会（会長＝中村政徳）の民謡・手踊りチャリティーショーと、これにあわせた金木町社会福祉協議会（会長＝角田正男）主催の「ふれあい昼食会」が11月10日、中央公民館で開催されました。

ショーでは手踊りや民謡、三味線などが披露され、昼食会に招待された65歳以上の一人暮らしのお年寄りや町民ら約200人が大きな拍手を送っていました。お昼には招待されたお年寄りに、協議会から弁当が配られ喜ばれました。

扇謡会では福祉活動の一助になればと収益の一部を毎回協議会に寄付しています。



納税作品コンクール『習字の部』で入賞



青森県納税貯蓄組合連合会五所川原支部主催による、西北五地区の小中学生を対象とした平成14年度納税作品コンクールの習字の部募集で、金木小学校6年生の葛西李紗さんの作品が銅賞に選ばれました。

入賞した李紗さんは「聞いたときはビックリしました。いい成績がとれて良かったです」と話していました。

町からは他に佳作、奨励賞に6名選ばれ、入賞作品は11月16日から17日にエルムショッピングセンターとイオン柏ショッピングセンターで地区ごとに展示されました。

東京都小平市の陸上自衛隊小平駐屯地に勤務し、本会の副会長を務めている
喜良市出身で陸上自衛隊2等陸佐の今修治さんのお便りを紹介します。

東京オリンピックの年、昭和39年に金木町立喜良市中学校を卒業してから、数えてみれば、なんと38年にもなります。月日がたつのは本当に早いものだと、しみじみ実感させられます。

中学校を卒業してふるさと金木を離れてからというもの、五所川原の高校へ通っていた3年間は別として帰郷するのはせいぜい一、二度、最近に至ってはお盆の時期にたった一度だけしか帰れないことが多くなってきました。それでも金木のことは、片時も忘れることはありません。忘れるどころか年々望郷の念が強くなってきます。

金木で過した時間よりも金木を離れてからの年月のほうが遥かに長いというのに不思議なものです。こうした中で、「東京ふるさと金木会」を知り入会させていただきました。今は私にとってふるさと会は、同郷の者がふるさとに想いを馳せながらお互いを励まし合うという意味においても、大切な存在と感じています。

「広報かなぎ」が毎月配布されることも会員になってよかったと思う点です。ふるさと金木の様子を知ることは、不思議なことに自分自身のカタルシスにもなるのです。「広報かなぎ」は、「ふるさとに恥じるようなことをするな!」「ケツパレよ!」と、そんなメッセージを送っているように思えてきます。そして、一通り目を通した後は、実にサッパリした気分になります。

金木は、私の心の支えです。長い間遠く離れていても、「東京ふるさと金木会」会員の皆さんと共に我がふるさと金木の発展を願わずにはられません。



ふるさとの皆さん。東京、関東方面に親戚、知人が在住でしたらぜひ東京ふるさと金木会のことをお知らせください。

【東京ふるさと金木会事務局】

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-3-22 アドニス天野2F 加藤税理士事務所内

TEL 03-3942-8825・FAX 03-3942-9171

※東京ふるさと金木会忘年会を12月15日(日)に東京都秋葉原の「肉の万世」で12時から開催しますので、関東在住の知人、友人にお知らせください。

国民年金情報

◎国民年金の保険料は社会保険料控除の対象
になります。

確定申告の時期が近づいてきました。平成十四年一月から十二月までの間に納められた保険料は、「社会保険料控除」として全額が所得から控除されます。

申告できるのは、平成十四年分の保険料の他に、過去の期間で未納や免除を受けていた分を平成十四年中に納めた保険料額になります。

また、ご自分の保険料だけでなく、家族の分として納めた保険料額も控除の対象になりますので、忘れずに申告しましょう。

【平成十四年の定額保険料額】

・月額 一万三千三百円
・年額 十五万九千六百円

◎国民年金保険料の納付忘れの心配が

今年も残すところあと一か月となりました。国民年金保険料を納め忘れていた月はありませんか。

国民年金保険料を納め忘れていたと将来受け取る老齢基礎年金の額が少なくなったり、受けられなくなることがあります。また、万一のことがあったとき、障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられなくなることもあります。

例年、農作物の収穫が終わった十一月から十二月にかけて納めている人もおられますが、この時機を逃すと未納になってしまう場合もあります。

ご自分の豊かな老後のためにも、毎月の国民年金保険料は忘れずに納めましょう。

人間ドックを 受ける方へ



内科 齋藤 正人

皆さんはおそらく、子どもの頃は毎年学校で身体検査を受けられたでしょうし、社会人になってからは、会社や町が実施する健康診断を定期的に受けていらつしやることと思います。あまり体に故障が起きない若いうちは、ごく基本的な健康診断でもいいのですが、年を重ねるにしたがつて、より詳しい健康チェックが必要となってきます。

四十歳を過ぎて中年といわれる年代にさしかかると、高

血圧、心臓病、糖尿病などのいわゆる生活習慣病と呼ばれる病気にかかりやすくなります。また、癌も増えてきます。これらの病気は、感染症のように熱や発疹が出るわけではなく、本人も気づかないうちに少しずつ忍び寄ってくるものです。

つまり、働き盛りの年代の方は、当人が元気なつもりでも、体を詳しく検査してみると、いろいろなあらとかが問題箇所が発見される

ことがよくあるのです。しかし、考えてみればいくら早期とはいえ、病気が発見されたということは、すでに病気になってしまっているわけですから、それはもう本来の予防とはいえません。そこで私たちは、人間ドックで早期に病気を発見することを二次予防と呼ぶことにしました。

では、一次予防とは何なのでしょう。それは病気の発生そのものを予防することです。病気を起こす原因の多くは、衣食住などの生活環境の中にあります。アルコール、タバコ、ストレス、過労、高

血圧などは、長年の積み重ねによって病気を引き起こすと言われる危険因子です。

たとえば、五年間毎晩三合のお酒を飲んでる人がいたとしましょう。この人が人間ドックを受けたところ、肝機能は正常という結果が出た

します。それを知ったご本人は「やれやれ、俺の肝臓は健康だ。これからも大いばりで酒が飲めるぞ。」と自信を得て、その後も毎晩晩酌を続けるでしょう。しかし、これからの人間ドックは、そうはいきません。この人のこれまでの病歴や生活習慣、過去の人間ドックの検査値などを総合的にチェックして、「今のところ、あなたの肝臓は正常です。しかし、もしこのまま晩酌を続ければ○年後には、おそらく肝硬変か肝ガンになるでしょう。その結果、寿命は○年短くなりますよ。」という警告まで行うようになり

ます。つまり、今かかっている病気の早期発見よりも、病気そのものの予防を目的としたライフスタイルの指導に、人間ドックは変わっていくでしょう。

みなさん方の多くは、人間ドックに入ればどんな病気でも発見できると勘違いしているらつしやるようです。高いお金を払っているんだから、病気を全て見のがさずに見つけてほしいという気持ちはわかりますが、残念ながら人間ドックにも限界があって、何もかも全ての病気が分かるわけでもありません。当然のことですが、人間ドックでわかるのは、検査した項目に関わる病気だけです。

勘違いと言えばもう一つ、現在何か病気をもっている医者にかかっている人が「自分は医者の管理を受けているから、いまさら人間ドックなど受けなくても大丈夫」と安心してしまいがちなことです。しかし、これも間違いです。何かの病気で通院している人でもやはり定期的に、全身をトータル的に見てくれる人間ドックや健康診断を受けたほうが、自分の健康を守ることができるといえます。

人間ドックはあくまでも、本人に症状がないまま進行している病気を発見するのが狙いです。ところが、どうも最

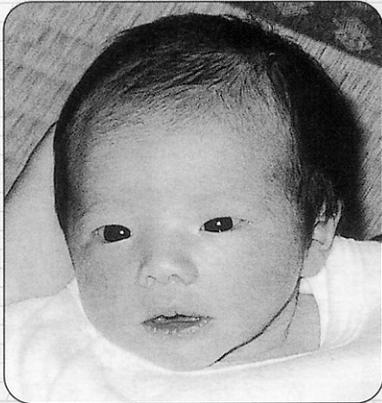
近痩せてきたとか、しばしば胃が痛むとか、下痢をするとか、だるいなどといった明らかな自覚症状があるにもかかわらず、病院へ行かないでどうせすぐ人間ドックに入るのだから、その時ついでに見てもらおうなどという方がいます。

あるいは、反対に体の具合が悪いから人間ドックに入ろうという人もいます。これは明らかに間違った考え方です。どこか具合が悪くなった時は病気が疑われるのですから、すぐにその専門外来に行つて診察してもらうことです。

人間ドックは、何も自覚症状のない人か、あるいは何かあるとしても多少血圧が高いとか、尿に糖が出るとか、コレステロール値が高いとかいった日常生活を送るのにはさしきわりのない程度の一般的な症状を示す人が、他に何か大きな病気が隠れているかもしれないから、念のためにチェックを受けようというときに受診することである。このことを決して忘れないでいただきたいのです。

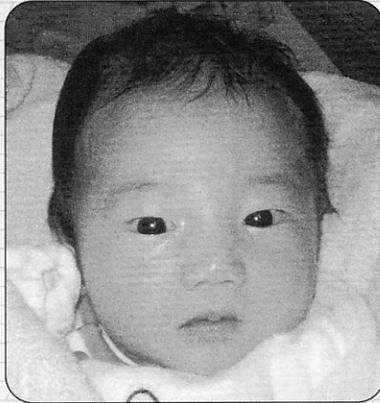
はじめまして

澤田 ^{ほなみ} 歩波 ちゃん
(10月22日生)



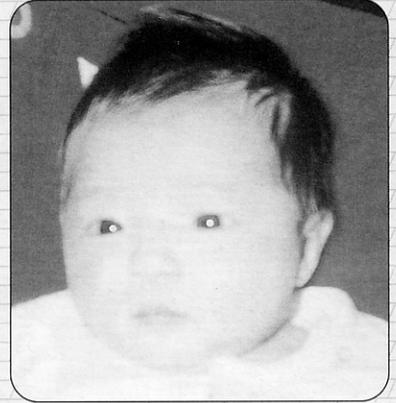
仲よくしようね
(姉 志帆より)

成田 ^{まおと} 磨央人 くん
(10月15日生)



スクスクと 元気に育ってネ!
(両親 孝彦・佐恵子より)

塚本 ^{なな} 七菜 ちゃん
(9月28日生)



大きくなって、裕太と遊ぼうね
(母 尋子より)

かなぎ公民館ブライダル情報

このたび、めでたく「かなぎ公民館ブライダル」(企画・進行=事務局「金木町中央公民館」)によりカップルとなられた方々をご紹介します。

Happy Wedding



2002.10.20 新郎 木田 敏彦 さん(喜良市)
新婦 入山 恵 さん(横浜市)

★ご結婚をご予定されている方は、お気軽に金木町中央公民館(☎53-3581)にご相談ください。すべて事務局が手配いたします。また、お二人のお名前と結婚記念日を刺しゅうした豪華桐箱入アルバムの記念品等々たくさんの特典があります。

戸籍の窓

10月届出分

おめでとう

下山 実咲 (泰治) 金木
塚本 七菜 (孝哉) 金木
成田 磨央人 (孝彦) 金木
澤田 歩波 (孝誠) 嘉瀬

おしあわせに

古川 寿人 (政信) 喜良市
小山内沙織 (弘幸) 木造町
三上 和聡 (幸芳) 中里町
秋元真由美 (秀樹) 藤枝
松橋 新二 (昭子) 喜良市
阿部 幸子 (重光) 埼玉県

おくやみ

石戸谷厚志 (廣) 金木
長内 郁子 (範子) 稲垣村
榊澤 忠志 (義明) 喜良市
桑田 希 (豊) 喜良市
桑田 清三郎 (85才) 喜良市
田村 タミ (91才) 喜良市
千葉 嘉英 (77才) 喜良市
中谷 ミキ (91才) 川倉
泉谷 文雄 (74才) 川倉
泉谷 良七 (82才) 川倉
阿部 昭治 (60才) 金原
長尾 憲康 (76才) 神原

この欄は金木町に住所を有している方々を掲載しています。掲載を希望しない方は町民課窓口に出出の際申し出て下さい。

伝言板

◎お譲りします

*「広報かなぎ」二〇〇〇年四月号から二〇〇一年三月号までバックナンバーの十二ヶ月分の処分に伴い、お譲りいたします。
ご希望の方は、役場企画観光課広報担当までご連絡をお願いいたします。

このコーナーを利用したい方は企画観光課まで

お詫びと訂正

広報かなぎ十月号に誤りがありましたので訂正してお詫び申し上げます。

▼十ページ
「おしあわせに」欄の小林政貴さんが小川になっていました。

人口と世帯

	10月末現在	前年同月比
男	5,619人	△ 76人
女	6,246人	△ 46人
計	11,865人	△122人
世帯数	4,062	△ 14